

授業科目(ナンバリング)	ソーシャルワーク演習(精神) I (DE202)			担当教員	丸山 貴志		
展開方法	演習	単位数	1単位	開講年次・時期	2年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>この授業の目的は、精神保健福祉援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、精神保健福祉士に求められる相談援助の基礎的な知識と技術について、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し、さらに理論化して体系立てていくことができるようになることを目的とし以下の項目を授業のねらいとする。</p> <p>①精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人を取巻く環境や社会を見渡し、こうした人々への差別や偏見を除去し共生社会を実現するための活動を精神保健福祉士の役割として認識し、政策や制度、関係行政や地域住民にはたらきかける方法をイメージできるようにする。②精神保健福祉士として考え、行動するための基盤を獲得し、職業アイデンティティを構築する意義を理解できる。その中で、学生が、精神障害者の人権と自己決定、及び地域社会における福祉課題に向き合い、精神科ソーシャルワークの知識・技術を、自分の言葉で説明し、他者が理解できる表現の仕方について、具体的に学ぶことも重視する。</p>							①④⑥⑦
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	精神保健福祉士に求められる相談援助に係る基礎的な専門用語と技術を説明できる。				課題レポート	20%	
情報収集、分析力	課題の解決のために、専門知識を関係づけることができる。				課題レポート	10%	
コミュニケーション力	ロールプレイやグループ活動等の疑似体験において、相談援助に係る基礎的な知識と技術、地域福祉の基盤整備に係る知識、技術を使用できる。				課題レポート	30%	
協働・課題解決力	個人またはグループでの活動に参加できる。				グループワーク	20%	
多様性理解力	体験と、専門的援助技術として概念化・理論化されたものとの間の共通点を指摘できる。				課題レポート	20%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>毎回の授業で学んだことを課題レポートにまとめポートフォリオにて提出する。学期末課題レポートは、相談援助に係る基礎的な知識と技術を得るためにどのような取り組みをしてどのように感じたか、考えたかや、調べた内容がわかりやすく表現されているかを評価する。グループワークにおいて専門的援助技術を意識して積極的に取り組めたかを評価する。授業でのプレゼンテーションは内容と表現を評価する。全体の課題レポート80%を評価して、グループワーク20%とする。全ての提出物は、次回の授業内及びレポート、ポートフォリオにてフィードバックする。</p>							
授業の概要							
<p>グループワークにより相談援助に係る基礎的な知識と技術に関する具体的な実技を用いたり、地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談事例を体系的にとりあげたりしながら、精神保健福祉士に求められる相談援助に係る基礎的な知識と技術について、実践的に習得する。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：精神保健福祉士養成講座 『ソーシャルワーク演習(精神専門)』中央法規 参考書：授業内で指示する。 指定図書：尾崎新(1997)『対人援助の技法～「曖昧さ」から「柔軟さ・自在さ」へ～』誠信書房</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							

グループのメンバーを尊重し合いながら、積極的に発言すること、調べること、書くこと。更には自発的な知識習得に努め、精神保健分野の行事や映画、ニュースなどに関心を持つこと等を期待する。

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション	授業の進め方、評価等の確認を行う	授業の進め方について理解する
2	<u>ソーシャルワークの過程を通した援助</u> (1)	<u>ケースの発見、インテーク</u> について学ぶ	予習:事例にかかわる疾患について調べる。復習としてケースの発見、インテークについてまとめる。
3	<u>ソーシャルワークの過程を通した援助</u> (2)	<u>アセスメントとプランニング</u> について学ぶ	予習として、療養生活を支える制度について調べる 復習:アセスメントとプランニングについてまとめる。
4	<u>ソーシャルワークの過程を通した援助</u> (3)	<u>支援の実施</u> について学ぶ	予習として退院後の支援制度、職場復帰に関わる支援制度について調べる
5	<u>ソーシャルワークの過程を通した援助</u> (4)	<u>モニタリング</u> について学ぶ	復習としてモニタリングについて学んだことを整理する。
6	<u>ソーシャルワークの過程を通した援助</u> (5)	<u>支援の終結と事後評価、アフターケア</u> について学ぶ	支援の終結と事後評価、アフターケアについてまとめる。
7	<u>個別面接</u>	<u>個別面接</u> について学ぶ	個別面接についてまとめる。
8	<u>グループワーク</u>	<u>グループワークの展開</u> について学ぶ	予習として第2章第2節を読む。復習:グループワークの展開についてまとめる。
9	<u>マネジメント</u>	<u>ケア会議や関係者会議のコーディネートとマネジメント</u> について学ぶ	ケア会議や関係者会議のコーディネートとマネジメントについてまとめる
10	<u>リハビリテーション</u>	<u>リハビリテーションプログラムの実施(行動療法、作業療法、回復支援プログラム)</u> について学ぶ	予習として行動療法、作業療法、回復支援プログラムについて調べる。復習:リハビリテーションプログラムの実施についてまとめる
11	<u>アウトリーチ、コミュニティソーシャルワーク</u>	<u>アウトリーチ、コミュニティソーシャルワークの展開</u> について学ぶ	アウトリーチ、コミュニティソーシャルワークの展開についてまとめる。
12	<u>社会福祉調査</u>	<u>社会福祉調査の実施、計画策定、評価、資源創出、政策提言</u> について学ぶ	社会福祉調査について調べる。復習として授業の振り返りを行う。
13	<u>普及啓発活動、人材育成</u>	<u>普及啓発活動、人材育成(住民への啓発、ボランティア養成、実習生指導)</u> について学ぶ	普及啓発活動、人材育成(住民への啓発、ボランティア養成、実習生指導)について理解する
14	<u>記録</u>	<u>記録(個別支援記録、公文書作成、業務(日誌・月報等)の記録、スーパービジョンのためのレポート作成等)</u> について学ぶ	予習として記録について調べる。復習として記録の重要性をまとめる
15	まとめ	前期の振り返りとまとめを行う	